雨水幹線等の整備により雨水を河川に排除し浸水被害を軽減

3か年緊急対策　５か年加速化対策　強靭化 NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概　　要：気候変動の影響や都市化の進展による内水氾濫の発生リスク増大を受け、浸水リスクが高い地区にて下水道による都市浸水対策を実施した結果、令和６年８月末の台風10号に伴う大雨時の浸水被害を防止。

対　策　名：1-2　流域治水対策（下水道）＜5か年加速化対策＞【国土交通省】

■　実施主体：三重県津市（はんだかわだ　くりままちや）

■　実施場所：三重県津市（半田川田、栗真町屋、天神排水区）

■　事業概要：内水氾濫が発生するリスクが増大しているため、浸水被害の危険性が高い地区において、速やかに雨水を排除させるため下水道（雨水幹線等）の整備による都市浸水対策を実施

【①半田川田排水区】半田川田第１雨水幹線
（断面）内径2.0～2.8m　（延長）約300m

【②栗真町屋排水区】町屋第２雨水幹線
（断面）2.0m×2.0m　（延長）約300m

【③天神排水区】天神ポンプ場　（雨水排水ポンプ　１台　160m³/分）

■　事業費：

主な事業	事業費	実施期間
ポンプ場および雨水幹線整備事業	約57億円	H26-R５
うち３か年緊急対策及び５か年加速化対策	約４億円	H31、R２、R３

■　災害の外力、被害と効果：

【①半田川田および②栗真町屋排水区】
平成16年９月末の台風21号では、半田川田および栗真町屋排水区で床上・床下浸水165件が発生したが、雨水幹線の整備等により、令和6年8月末の台風10号に伴う大雨時は、床上・床下浸水の被害がなく、浸水被害を防止。

【③天神排水区】
平成29年10月下旬の大雨時はポンプ場周辺が道路冠水し、交通遮断が発生したが、天神ポンプ場の整備等により、令和6年8月末の台風10号に伴う大雨時は、同箇所における道路冠水がなく、浸水被害を防止。

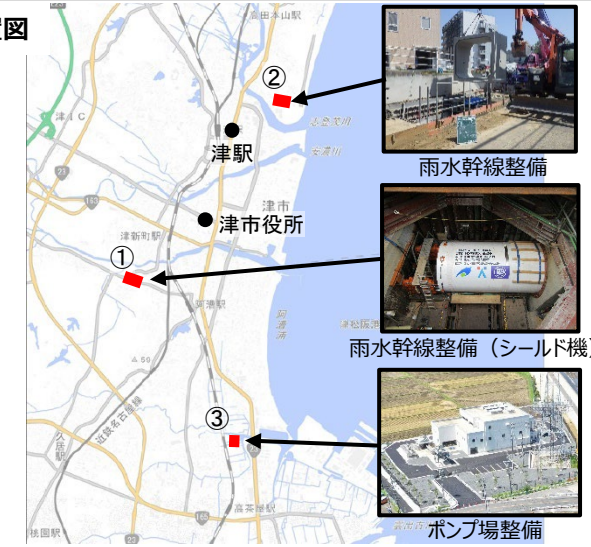
■　関連施策：
ソフト対策として内水ハザードマップを作成・公表

■　関連する指標等

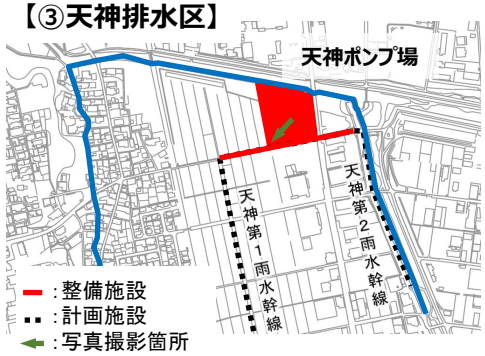
都市浸水対策達成率（津市）※面積ベース
令和元年46.1%　→　令和5年49.5%

排水区域の概要と位置図・効果

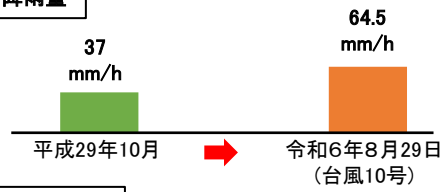
位置図



【③天神排水区】



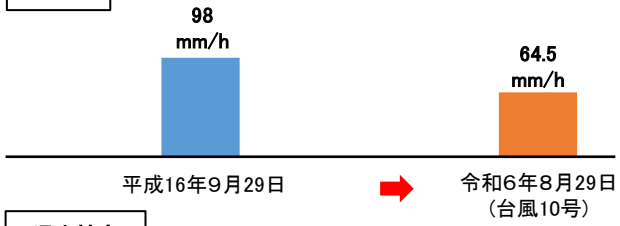
降雨量



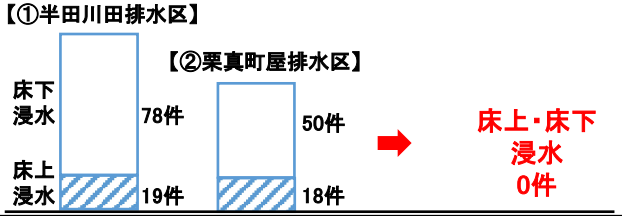
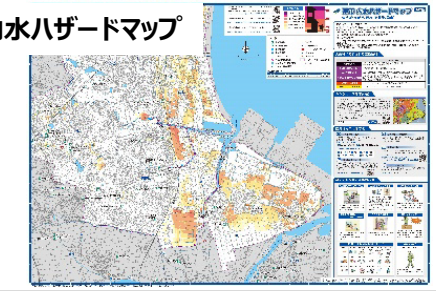
浸水被害　＜ポンプ場周辺状況＞

【①半田川田および②栗真町屋排水区】

降雨量



浸水被害



内水ハザードマップ